

◆「1回だけなら大丈夫。すぐやめられる」という甘い誘いと好奇心から、安易な気持ちで薬物を使い始めても、薬物の「依存症」と「耐性」によって使用する量や回数がどんどん増え、脳は回復困難なダメージを受けて、自分の意志ではやめることができなくなります。

◆国内で乱用されている主な違法薬物には、覚醒剤、大麻、MDMAなどがあります。特に大麻は、近年、若者の間に広がりを見せており、みなさんも注意が必要です。

大麻（マリファナ）

Q どのような害があるのですか??

A 「大麻に害がない」というのは全くの誤解です。アルコールやたばここと比べて、人体への有害性は低いということはありません。WHO（世界保健機関）の報告によると、記憶への影響、学習能力の悪化、知覚の変化、人格喪失などを引き起こすほか、使用をやめても依存性が残るなどとされています。



大麻草



乾燥大麻

Q どのようなものですか??

A 大麻草の葉を乾燥させたものや、樹脂を固めたものがあります。所持したり、提供したりすることはもちろん、不正栽培も処罰対象となります。種子の売買にあたり、「観賞目的」という言い訳は通じません。

なお、大麻を合法であると謳っている国はありません。「ハッパ」「クサ」「チョコ」「野菜」などの隠語があります。



大麻樹脂

大麻事犯の検挙人数の推移

■ 未成年
■ うち高校生

